

評価結果概要版



令和5年度

通所介護【デイサービス】

利用者調査とサービス項目を中心とした評価手法

法人名称	特定非営利活動法人明るい老後を考える会
事業所名称	デイサービス榛名坂
事業所所在地	東京都町田市金井3丁目20番1号
事業所電話番号	042-737-7131

事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）	1) 施設の使命 デイサービス榛名坂は近隣地域と連携し、地域で高齢者が安心して生活が送ることができる拠点施設になることを使命とします。 2) 利用者の人権と尊厳の尊重 私たち職員は、利用者の人権擁護、尊厳が維持されるよう公平・公正なサービスの提供を行い、個人情報やプライバシー等の守秘義務を徹底します。 3) 利用者中心のサービス提供 私たち職員は、利用者の意向、意思を尊重し、その価値観や生活習慣に基づいた生活が極力維持出来る様、利用者本位のサービス提供に努めます。 4) 地域社会への貢献 地域社会の一員としての自覚を持ち、近隣住民と連携した地域防災、介護予防・健康づくり事業、地域交流の場づくりを推進します。 5) 職員の専門性向上 私たち職員は、日々、福祉・介護における正しい知識と技術の習得に努め、より安全で安心なサービスを提供します。

全体の評価講評

特に良いと思う点

・独自の記録ソフトの導入は、記録や介護計画との連動、申し送り等、事業内容全般について情報共有を可能にした画期的な取り組みといえる

事業所では、ベンチャー企業と連携して、2022年4月からタブレット記録ソフトを導入し、介護計画をはじめ、個人の情報や利用者のデイでの様子などの記録をすべてタブレットに入力し、情報共有を図っている。職員研修を3か月弱繰り返す中で、全員が使いこなせるようになり、今では介護職員4台と看護職員1台のタブレットで、利用者に関わりながら入力できるようになっている。音声入力もでき、申し送りや訓練計画、連絡帳や各種の加算様式にも連動しているこのソフトは、事業内容全般について情報共有を可能にした画期的な取り組みといえる。

・大人のデイサービスを目指した多彩なプログラムを用意し、利用者が心身ともに充実した時間を過ごせるように支援している

利用者が心身ともに充実した時間が過ごせるように「大人のデイサービス」と銘打ち、利用者の主体性を尊重した様々な取り組みを行っている。多彩なプログラムを用意しプログラムの選択は利用者のその日の意向に寄り添い、チャレンジできるように支援している。また、個性を尊重し、「自分で選曲した音楽を流して欲しい」、「新聞を読

んで夕食のメニューを考えたい」等、事業所内で快適に楽しく過ごせる工夫をしている。利用者が主体的に取り組むことで、モチベーションの持続・向上につながっている。

・食事は管理栄養士が食材選びから手掛け、季節感のある栄養バランスに富んだメニュー、出汁にこだわった手作りの家庭料理を提供している

食事は管理栄養士が野菜類を地元で調達、肉類は国産にこだわり、季節感のある食材を優先したメニュー作りをおこない、毎月通信でも紹介している。毎朝事業所内の調理室で出汁をとり、利用者の嗜好や禁止食材、咀嚼・嚥下等に配慮した手作り料理を提供している。食器類は陶磁器を使用し家庭料理にこだわった盛り付けをおこなっている。法人の成り立ちが手作りの配食サービスから始まったこともあり、食事へのこだわりと思いが受け継がれている。食事の時間は利用者の楽しみの一つであり、ケアマネからも「食事が美味しい」との評判が定着している。

さらなる改善が望まれる点

・多彩な趣味活動をチームとして提供していくために、職員の知恵を結集してマニュアルを含めた業務の見直しが望まれる

事業所は利用者調査でも満足度が高いと評価を得ている。これは趣味活動に特化しているため、経験値の高い職員がその活動を支えているといえる。ただ詳細なマニュアルはあるが、見直しや活用も不十分であり、経験のある職員ほど業務の見直しについて問題意識を持っていることが職員自己評価でも表れている。職員の意見でテーブル配置を変更し動線が改善された例もある。職員の声に耳を傾ける姿勢を続けながら、多彩な趣味活動を提供するからこそ細かな決め事を含め、職員の知恵を出し合い業務の見直しが進められることを望みたい。

・虐待防止について、事業所として職員の倫理観や人権擁護に対する意識を高めるための組織的な対応が未整備である

事業所ではこれまで、不適切ケアを含めてが虐待についての事例は見当たらない。ただし、虐待防止に関するマニュアルや虐待防止対策、早期発見・早期対応に対する対策の明文化ができていない。事業所では、専門職としての倫理や人権擁護等に対する職員の意識を高める必要性を認識し、組織として虐待防止についての取り組みに着手することを明らかにしており、東京都が開催する研修にも職員を参加させる予定である。今後の対応に期待したい。

・近隣自治会と協力協定を結び施設内庭園・駐車場を開放した活動をおこなっているが、地域の拠点施設として更なる取り組みに期待したい

事業所が高台の住宅街の中心に位置している環境を活かし、地域の拠点となることを基本方針として掲げている。近隣自治会とは相互協力協定を結び、事業所内庭園・駐車場を自治会の防災訓練、刃物研ぎなどの行事に開放している。事業所に自治会室が併設しているため、自治会活動としての活用のほか、施設の行事に借り受けるなど相互に協力しあっている。今後は地域住民のための介護予防事業、地域包括支援センターと連携した地域交流の場づくり、SNSを活用した情報発信等、地域貢献の一翼を担う取り組みに期待したい。

事業者が特に力を入れている取り組み

・働きやすい職場環境が、事業所の経営環境へのリスクマネジメント対策につながっている

厳しい経営状況の中で、機能訓練事業を始め、魅力あるサービスの開発やICT化の推進などをすすめている。その中でも事業継続の柱として、職員が働きやすい職場環境を整えている。そのために、柔軟な勤務シフトにより週1日からの勤務を可能とし、休暇も取得しやすく、時短勤務にも柔軟に対応するなどの環境を整えることで、チームワークとホスピタリティに富んだ職員が多く、それがサービスの質の向上にもつながっている。働きやすい職場環境が、事業所の経営環境へのリスクマネジメント対策につながっている。

・10種類の個別機能訓練プログラムを用意し利用者・家族の意向に合わせて選択できる

初回到相談員が本人・家族から個別機能訓練への意向を確認し、希望する利用者には機能訓練指導員が一人ひとりの状態に合わせた機能訓練計画書を作成している。利用者の約8割が個別機能訓練をおこなっており、自宅での移動、入浴、外出等の動きのアップにつながるように、10種類のプログラムの中から選択し、3か月ごとに体力測定をおこない効果を測っている。職員は機能訓練計画書を踏まえて、事業所内での自然な声かけ、必要な誘導等をおこない、動きの変化等気づいたことはタブレット記録ソフトに入力しモニタリングに活かしている。

利用者調査結果

有効回答者数/利用者総数

50/58

■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ ■ 無回答・非該当

1. 利用時の過ごし方は、個人のペースに合っているか	94.0%	6.0%	いはいえ：0.0%	無回答・非該当：0.0%
2. 日常生活に必要な介助を受けているか	74.0%	8.0%	10.0%	8.0%
3. 利用中に興味・関心が持てる行事や活動があるか	86.0%	12.0%	いはいえ：2.0%	無回答・非該当：0.0%
4. 個別の計画に基づいた事業所での活動・機能訓練（体操や運動など）は、在宅生活の継続に役立つか	90.0%	8.0%	いはいえ：0.0%	無回答・非該当：2.0%
5. 職員から適切な情報提供・アドバイスを受けているか	90.0%	4.0%	4.0%	2.0%
6. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか	92.0%	8.0%	いはいえ：0.0%	無回答・非該当：0.0%
7. 職員の接遇・態度は適切か	92.0%	8.0%	いはいえ：0.0%	無回答・非該当：0.0%
8. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	82.0%	8.0%	10.0%	いはいえ：0.0%
9. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	60.0%	12.0%	28.0%	いはいえ：0.0%
10. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	90.0%	6.0%	4.0%	いはいえ：0.0%
11. 利用者のプライバシーは守られているか	84.0%	10.0%	6.0%	いはいえ：0.0%
12. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	82.0%	12.0%	6.0%	いはいえ：0.0%
13. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	86.0%	6.0%	8.0%	いはいえ：0.0%
14. 利用者の不満や要望は対応されているか	72.0%	10.0%	18.0%	いはいえ：0.0%
15. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	54.0%	16.0%	28.0%	いはいえ：2.0%